

5. 施設の状況

5.1 加速器運転計画

5月の運転計画は、次のとおりです。なお、機器の調整状況により変更になる場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

RUN#68: 4/4~5/31

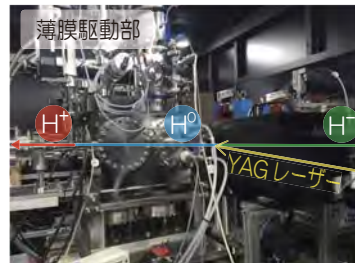
- 保守
- リニアック、3GeV シンクロトロン運転(半日利用運転含む)
- 50GeVシンクロトロン(MR)及びニュートリノ利用運転(半日利用運転含む)
- 50GeV シンクロトロン(MR)及びハドロン利用運転(半日利用運転含む)
- 物質・生命科学実験施設(MLF)利用運転(半日利用運転含む)

5.2 実験施設関連

- (1) ハドロン実験施設では、実験ホール北側のK1.8ビームラインで使用されてきた超伝導電磁石を、新たな実験課題の実施に向けてホール南側のビームラインへ移設しました。
- (2) J-PARC では、核変換実験施設の建設を計画しており、将来使用予定のレーザー光と薄膜によるレーザー荷電変換技術の実証試験に向けた装置整備を進めています。また、同施設の核破砕ターゲットに用いる液体鉛ビスマス共晶合金による構造材腐食特性試験用大型ループの整備を完了しました。



新たな実験に向け移設した超伝導電磁石
(ハドロン実験ホール南側)



実証試験に向けて整備中の
レーザー荷電変換装置
(リニアッククライストロン準備室)



液体鉛ビスマス共晶合金による
構造材腐食特性試験用大型ループが完成
(高温工学試験棟)

6. 「時・時間・時計 ママと一緒に実験！発見！」

J-PARC ハローサイエンス in 東京(3月30日、西東京市)

西東京市の谷戸幼稚園は、外部講師を招いて活動する課外教室「創造的思考の工房-チビッ子アトリエ」を開き、子供達の“遊び、実験、作品作り”から創造的思考力の発達を引き出す取り組みを行っています。このアトリエで、昨年3月に引続き坂元真一広報アドバイザーがJ-PARC ハローサイエンスを開催しました。園児と小学生のメンバーに、アトリエ卒業の中高生と保護者が加わり、総勢40名が集いました。坂元氏が“時”をテーマにお話した後、砂時計や水時計、そして棒テンポ時計の工作を指導していきましました。子どもが作った棒テンポ時計が上手く動き出すと手を叩いて喜ぶお母さんの姿も見られ、楽しく科学と触れ合うひと時となりました。



棒テンポ時計の工作に励む参加者

7. KEK サイエンスカフェ “水素を深読み”(4月3日、西東京市・多摩六都科学館)

KEK は、“水素”をテーマとしたサイエンスカフェを、物質構造科学研究所(物構研)の餅田円広報コーディネータと、MLF の中性子実験装置NOVA で水素貯蔵合金の研究を進める大友季哉教授(J-PARC 中性子利用セクション)を講師として開催しました。午前中は小中学生、午後は高校生から大人を対象に開かれ、小学生の同伴者を含め約40名が来場しました。水素の誕生から未来の水素利用の可能性まで、幅広い内容にクイズを交えた講師の話に、多くの質問が飛び交いました。また、水素の性質を体感するシャボン玉実験、水素吸蔵合金が水素を取込む実演などの科学実験には、皆さん興味深く見入っていました。



講演を行う大友季哉教授

8. ご視察者など

- 4月 5日 文部科学省 高等教育局専門教育課 土生木 茂雄 視学官
- 4月 5日 産学協力研究委員会「材料中の水素機能解析技術第190委員会」
- 4月21日 文部科学省 研究振興局基礎研究振興課 素粒子・原子核研究推進室 堀之内 豊 研究推進係長
- 文部科学省 研究振興局学術機関課 細野 亮平 機構総括係長